

## お薬手帳の活用法

川口市立医療センター

薬剤部

あか

ぬま

赤沼

ひろ

あき

浩明



お薬手帳の普及が進み、現在、多くの患者さんに利用されるようになりました。ご自分の薬を確認するのに便利なお薬手帳のそのほかの活用法やポイントをご紹介します。

### 1.薬をより安全に使っていただくために

病院、医院、歯科医院など同時期に別の医療機関を受診することや、同じ病院内で別の診療科を併科受診することもあり、2種以上の薬を併用することは珍しくありません。特に高齢者でその傾向は高まるといわれます。併用での注意点は、「飲み合わせ」や「同効薬の重複」の確認です。医療機関や薬局では、お薬手帳を見てもらうようにしましょう。

### 2.非常時に備えて携帯しましょう

「天災は忘れた頃にやってくる」の警句にあるように地震など災害はいつ起きてもおかしくありません。災害時のほかに、旅行先で万が一、急病や事故にあった際、お薬手帳があれば薬の情報を正確に伝えることができます。

### 3.手術を受けるかたへ、術前中止薬の確認

当センターで手術を受けるかたは、入院前に患者支援センターにて他の医療機関を含む服薬状況の確認を行います。例えば、血液をサラサラにする薬などは、あらかじめ休薬が必要な場合もあります。手術が予定通り安心して受けられるようお薬手帳で確認します。

### 4.お薬手帳を効果的に使うために

お薬手帳は、一人1冊が原則です。例えば、医療機関ごとに手帳を作ったり、家族全員分を手帳1冊にまとめたりすると、「飲み合わせ」や「同効薬の重複」の確認ができなくなるため、使い方には注意が必要です。また、基本情報としてアレルギー・副作用歴などあれば記入しておくといいでしょう。

お薬手帳は、患者さんの薬の情報源です。処方内容が同じでも必ず最新情報に更新し、医療機関を受診する際は必ず持参してください。